

新たな公共交通サービスの導入について

公共交通ネットワークの充実に向けた取組として進めている新たな公共交通サービスの導入に関して、実証実験の運行計画を取りまとめたので以下のとおり報告する。

1 経緯

- 令和4年2月 建設委員会及び中野駅周辺整備・西武新宿線沿線まちづくり調査特別委員会に事業者募集に関する報告
事業者公募
- 4月 事業者（関東バス株式会社）決定
- 5月 バス停設置候補地付近の地域調整
関係者調整（国土交通省関東運輸局、警視庁等）
- 6月 現場実査（道路管理者、警視庁）
運行経路・バス停位置の再検討、運行計画案の作成
- 7月 中野区交通政策推進協議会において関係者協議
（道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条の2に掲げる協議）

2 運行計画について

別紙のとおり

3 今後のスケジュール

- 令和4年 8月 実証実験に関する事業の許可申請（国土交通省関東運輸局）
道路等の使用に関する諸手続（道路管理者、警視庁等）
地域等への事前説明（自治会・町会、小学校等）
- 9月頃 地域に対する実証実験の周知（オープンハウス形式）
バス停の設置工事
- 10月頃 実証実験に関する事業の許可
実証実験の実施
評価基準・検証フロー（案）の作成
- 令和5年 1月頃 実証実験の中間評価
- 3月 実証実験結果データの取りまとめ
- 令和5年度 令和4年度の実証実験結果の分析・検証

実証実験の運行計画

車両

- ① 車種 : トヨタ自動車 ハイエスコミューター
- ② 台数 : 2台
- ③ サイズ : 全長 5.38m、全幅 1.88m、高さ 2.285m
- ④ 仕様 : ステップ付 (乗降口)、ディーゼル車
- ⑤ 定員 : 12名 (座席 10、乗務員席 2)

運行情報 : バスロケシステム搭載

- ⑥ 車両位置や所要時間等の最新の運行情報を提供。スマートフォン等を利用して、リアルタイムに運行状況を確認することが可能。



- ⑦ 車両イメージ :

運賃

- ① 普通運賃 : 1乗車 大人…200円 (税込み)
小児…100円 (税込み)

- ② 支払方法 : 現金又は交通系ICカード

- ③ 割引制度
 - 関東バス定期券 : 無料
 - 乳児 : 無料
 - 幼児 : 無料*
 - 障害者 : 普通運賃の半額

乳児 (1歳未満) 幼児 (1歳以上~6歳未満) 小児 (小学生以下)
* : 小学生以上に同伴する幼児2名まで

- ④ 1日乗車券 : 大人…600円 小児…300円

- ・ 関東バス路線との乗り継ぎが可能
- ・ 交通系ICカードのみ購入可能

その他 (運行車両に係る移動等円滑化基準の適用除外)

車両が運行する経路は道路が狭く勾配があり、中・大型バスでの運行が困難であるため、以下について移動等円滑化基準の適用除外の認定を受ける。

- ① 乗降口のスロープ
- ② 車いすスペース
- ③ 通路の幅
- ④ 通路の手すりの間隔
- ⑤ 運行情報提供設備等

運行ルート

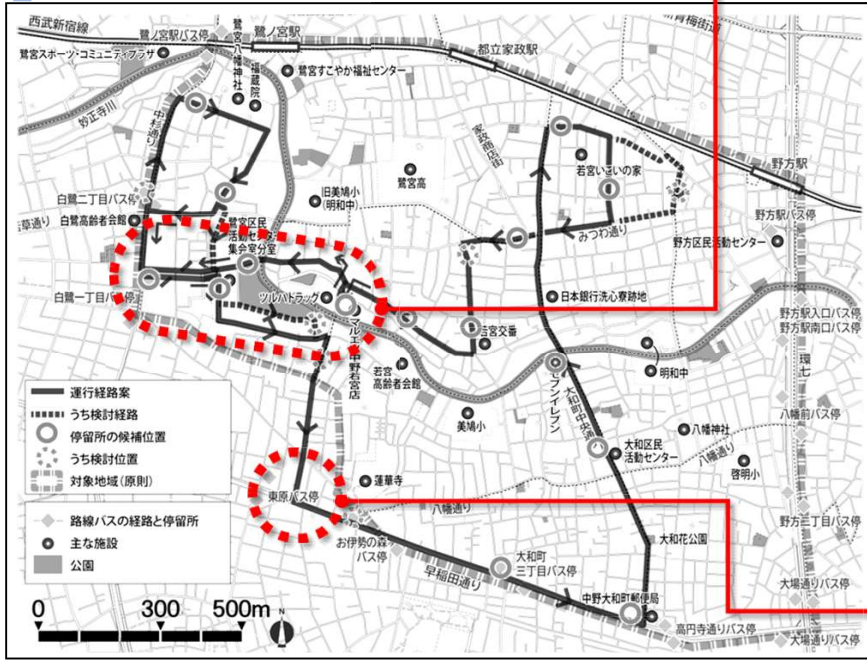
- ① 起終点 :
[01]白鷺一丁目バス停
- ② 距離 (1周) :
7.2 km
- ③ 運行時間 :
午前9時~午後8時
- ④ 運行間隔 :
20分~30分
- ⑤ 路線名称 :
(仮称)
中野区実証実験運行・
若宮大和町循環
- ⑥ バス停名称 :
下表のとおり



01 白鷺一丁目 (既存)	05 大和町三丁目 (既存)	09 若宮二丁目	13 若宮三丁目アパート (鷺ノ宮駅南口)
02 阿佐谷北六丁目 (既存)	06 大和区民活動センター	10 鷺宮区民活動センター分室	14 白鷺一丁目第4アパート
03 東原 (既存)	07 若宮一丁目	11 白鷺一丁目第37アパート (白鷺せせらぎ公園前)	
04 お伊勢の森 (既存)	08 みつわ通り	12 白鷺二丁目 (既存)	

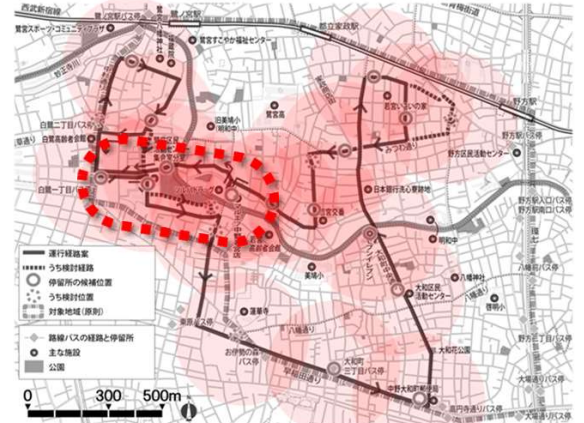
【参考】運行経路に関する検討経緯の概要

令和4年2月時点の運行経路案



① 課題：効率性

公共交通サービス圏域の重複（停留所が密集し、運行の効率性が良くない）



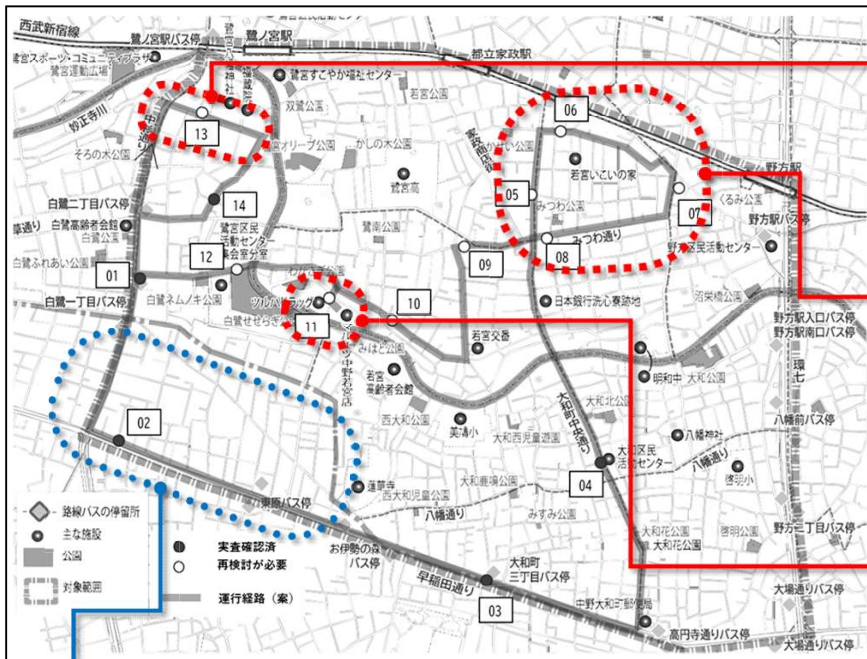
●：公共交通サービス圏域（停留所から約250m）

② 課題：安全性

早稲田通りとの交差点部に信号がないこと、見通しが悪いことから、早稲田通りを通行する歩行者・自転車等との事故防止に関する安全対策が必要

運行経路の改善

令和4年6月時点の運行経路案（関係者現場実査時の走行ルート）



① 課題：道路幅員等

道路幅員が狭く、後続車の追い抜きが難しいことや、民地側でバス待ちスペースがないなど安全性の確保が困難
⇒鷺ノ宮駅へのアクセス向上に向けた改善

② 課題：道路幅員等

道路幅員が狭く、後続車の追い抜きが難しいことや、民地側でバス待ちスペースがないなど安全性の確保が困難
⇒野方駅方面へのアクセスを確保しつつ、バス待ち環境の安全性を改善

③ 課題：道路幅員等

道路幅員が狭く、後続車の追い抜きが難しいことや、店舗駐車場でバス待ちによる安全性の確保が困難
⇒より多くの利用者数確保に向けた改善

改善：効率性・安全性確保

中杉通り・早稲田通りを通る経路としたことにより、運行の効率性と安全性を向上させた案に見直し